

文・献・抄・録

言語治療および治療者の研修におけるマイム（身振り）の効果

Mime in Language Therapy and Clinician Training/
Balick, S. et al.: Arch. Phys. Med. & Rehabil.
57, 35-38, 1976.

【言語治療，身振り，知恵おくれ】

知恵おくれに言語のおくれを合併することは少なくないが，このような児童に対する言語治療は，通常の方法では，効果をあげ難い。著者らは，精薄児特殊学級に在籍する学童5人（8～13歳）を対象に，通常の個人言語治療と，マイム（身振り）による集団治療を，週1回ずつ行い，マイムの効果について検討した。マイムは，専門家に指導を受けた治療者が行い，物の名などの単語や，短い文章を言葉で表す代りに，身振りで示し，児童には，それを言葉で答えさせた。マイムにより，注意の持続度，記憶力，言語の理解力，表出力ともに向上し，自発的に言葉話すようになり，治療前に多動であった2人の児童は，落ち着きがみられるようになった。副次的な効果として，治療者と，児童との間の人間関係が緊密になった。知恵おくれの場合，想像力に乏しいが，マイムが，それを広げることにより，言語面にも進歩をもたらすとの推測をのべている。

（こども医療センター 陣内 一保）

ヒトの病的筋内のアセチルコリンエステラーゼ

Acetylcholinesterase in Abnormal Human Muscle/
Wilson, B.W. et al.: Arch. Phys. Med. & Rehabil.,
57, 74-78, 1976.

【筋疾患，脱神経，アセチルコリンエステラーゼ】

病歴，各種検査所見より，神経筋疾患と診断された44例と，正常例6例について，外側広筋より得られた筋生検標本のアセチルコリンエステラーゼ（AChE）活性と，その局在性を組織化学的方法により検索した。正常例では，神経筋接合部と筋線維の周辺に活性を有していた。これに対し，異常例では，44例中21例に筋線維の10%以上に sarcoplasmic AChE 活性を認めた。特に，筋ジストロフィー，神経原性および脊髄性筋萎縮，脊髄損傷，末梢神経損傷，筋無力症候群に著明にみられ，炎症性ミオパシーなどでは，10%以下に止まっていた。AChE は胎児の筋において活性が高く，生後は次第に低下するが，ニワトリでは，脱神経後，および遺伝性筋ジストロフィーの場合に，活性が再上昇することが知られている。これとあわせて，ヒトの場合も AChE の神経性調

節が絶たれた場合に，筋線維の sarcoplasm 中の AChE 活性が再上昇するものと推定される。

（こども医療センター 陣内 一保）

知る権利：患者に自身の医療記録を渡すこと

The Right to Know: Giving the Patient His Medical Record/Colocletz, A. et al.: Arch. Phys. Med. & Rehabil, 57, 78-81, 1976.

バーモント医科大学のリハ部門は16床の入院設備があり，POS（問題志向）方式の医療記録を採用している。1972年10月以来，入院患者に対し，入院後2日目に入院時の評価，治療計画，問題リストとそれに関するデータをコピーして渡し，退院時には，退院時のまとめを同じくコピーして渡している。これらは，患者の教育を目的とし，更に，リハ・チームの患者に対する責任の認識を強めることもあった。7カ月間試行後，患者側の反応，スタッフ側からみた患者の反応，また患者に渡すために，記録の一部を削除したかなどを調査し，このシステムの評価を行った。その結果，患者側は，おおむね満足しており，教育効果も上っており，スタッフの側にも，根本的な問題点はなく，医療記録を患者に渡すことは，リハの過程において，安全で，費用もかからない有効なシステムであるとの結論を得た。

（こども医療センター 陣内 一保）

筋性斜頸に対する観血的胸鎖乳突筋腱切術の結果についての年齢的影響

The Influence of Age on the Results of Open Sternomastoid Tenotomy in Muscular Torticollis/Ling, C.M.: Clinical Orthop., 116, 142-148, 1976.

【筋性斜頸，胸鎖乳突筋腱切術】

筋性斜頸の治療において，保存的療法で軽快しなかった時，または二次的変形が出現した後では，外科的療法の目的は主に美容上の問題である。以前よりその手術法に関しては色々と発表されているが，その方法は別として，観血的切腱術を行った後の長期観察の結果，最も良い成績が得られる手術時期について検討した。著者らは1962年から1972年にわたり，60名の患者について行ったのであるが，それによると①1歳以下では瘢痕の深部組織への癒着が非常に多く，結果はそれ程良くなく，良は42.1%であった。②1歳から4歳まででは顔面の変形，頭部の傾き，運動制限の改善等に66.7%以上が良い結果であった。③しかし5歳以上では二次的変化が矯正され

ないばかりか、胸鎖乳突筋走行の消失があり、瘢痕は醜く lateral land が目立ってくる。5歳から8歳までは良は33.3%で9歳以上では良は0である。よって最も良い手術時期は1歳から4歳までである。

(自治医大 大井 淑雄)

股関節全置換術における Stem とセメントの界面について

The Femoral Stem/Cement Interface in Total Hip Replacement/Fornasier, U.L. & Cameron, H.U.: Clinical Orthop., 116, 248—252, 1976.

【股関節全置換術、骨頭幹、骨セメント】

股関節全置換術においての、人工骨頭幹とセメントの界面についての研究は殆んど行われていない。著者らは Charnley-Muller 型を使って置換術を行った後、7週から5年経過した5人の屍体について、その界面を調べてみた(5人とも置換術とは関係の無い疾病で死亡している)。まず大腿の近位半分を10%ホルマリンにつけ、その後 methylmethacrylate monomer に入れセメントを溶かし、Stem の周囲の薄層を組織学的にも観察した。それによると、この薄層は全例にみられ、Stem の全周を覆っており、種々の程度に器質化した結合織よりなっているもので、セメント組織とは分離していることが分った。これは Stem がセメントで固く固定されているものではなく、わずかに動きがあることを示しているものである。そしてこの gap は、Stem の熱の拡散と、セメントの収縮、置換時に Stem の周囲に存在した組織液や血液の器質化が合わさって生じたものであろう。gap の臨床的意義は明らかではないが、関節置換物の製作に当っては十分考慮しなければならない問題である。

(自治医大 大井 淑雄)

CP の基本的治療概念と取扱い方

The basic concept of treatment and management of children with cerebral palsy/Bobath, K.: Cahier du Cercle de Documentation et D'Information, No. 4, 9—24, 1974.

【脳性麻痺、治療、取扱い方】

CP に対する Bobath 法の治療について、少し誤解されているので、説明を加えたい。第1に Bobath 法は神経生理学的な発達段階に従って、治療方法も変えている年齢的限界は、異常姿勢反射が固定されて来る13歳前後である。異常姿勢反射のコントロール効果が得られない

場合、治療のアプローチを変更する必要がある。Bobath 法では、異常な姿勢反射を抑制(inhibition)したうえで、正常な運動のパターンや動作を発達促進(facilitation)させている。このような方法で頸の伸展や軀幹の立直り反応、手の支持性、平衡感覚を養成している。このようにして基本的な activities を高めることにより、機能面も知能面も発達して行く。これらの理論は K. Bobath, B. Bobath の著書に記載してある。Ataxia, ある種の hypotonic な Athetosis, 動きの引出し困難な例には、その他の方法を用いている。(女子医大 山形 恵子)

頸椎症：位置覚、振動覚障害のもっとも多い原因として

Cervical spondylosis: Most common cause of position and vibratory sense loss/Valergakis, F.E.G.: Geriatrics, 31, 51—56, 1976.

50歳をこえると、手足の位置覚、振動覚障害が限局性に出現することが少なくない。このような場合、糖尿病、悪性貧血、多発性硬化症など鑑別すべきものが多いが、まず考えるべきものとして、頸椎症がある。しかし、頸椎のレ線像と臨床症状とはかならずしも対応せず、骨棘、椎間腔の狭少、などの変化を認めても、なんの症状も訴えないことも多いものである。しかし、矢状面レ線像で、椎体後縁と、椎弓と棘突起の移行部との距離(これは脊椎孔に相当する)を測定してみると個人差があり、(11mm～17mm)、自覚症状を訴えるものは、この距離が狭い人であるといえる(その逆はかならずしも成立しないが)。すなわち生来、椎孔の前後径の短い人があり、とびだしてきた椎間板、その一部の石灰化したもの(50歳以上では76%にみとめられる)、肥厚した黄靱帯などにより椎孔内はさらに狭くなり、頸の屈伸のたびごとに頸髄は挫傷を受け、これが知覚障害の原因になるものと考えられる。椎間孔変形による神経根圧迫の場合と違って通常痛みは伴わない。治療としてはカラーで軽度屈曲位に固定するのが効果的である。

(七沢病院 福井 圀彦)

運動時 ST 上昇の臨床的意義

The Clinical Significance of Exercise induced ST-segment Elevation/Chahine, R.A. et al.: Circulation, 54, 209—213, 1976.

【トレッドミルテスト、ST 上昇、冠動脈撮影】

運動時の ST 上昇の臨床的意義は未解決の問題である。著者らは840例の treadmill test のうち29例(3.5%)

文・献・抄・録

の ST 上昇を認めた。このうち 8 例のみが狭心痛のために中断している。ST 上昇を認めた 29 例のうち 25 例 (85%) に安静時心電図で前壁硬塞 (AMI) が認められた。又、21 例に angiography を行ない、19 例 (90%) に左前下行枝 (LAD) に著明な狭窄を認め、18 例 (86%) に左心室瘤を認めた。全体の患者から見ると、AMI のうち、22%、LAD 狭窄のうち 18% が ST 上昇を示したことになる。これに対して左心室瘤の患者は 64% が ST 上昇を示したことになる。しかも左心室瘤の患者の場合はこの ST 上昇の再現性が高いが、他の群ではそうではない。従って運動時の ST 上昇は左心室瘤の診断上 sensitivity が高いと言え、左心室の虚血よりも左心室壁の異常運動が関係しているように思われる。

(七沢病院 中村 昭)

Auranofin—慢性関節リウマチに対する新経口金剤
Auranofin—New oral gold compound for treatment of rheumatoid arthritis/Finkelstein, A.E. et al.: Ann. rheum. Dis., **35**, 251—257, 1976.

【RA, 経口金剤, 血清蛋白, 臨床効果】

RA 患者 8 名を対象とし、triethylphosphosphine gold (Auranofin) 3 mg (金として 0.87 mg) を 1 日 2 回 12 週経口投与群 (4 名, 第 1 群) と、3 mg 1 日 2 回 3 週間その後 3 mg 1 日 3 回 9 週投与群 (4 名, 第 2 群) にわけ、さらに両群ともプラシボを 12 週投与した。血中金濃度は両群とも経時的にほぼ直線的に上昇し、12 週後第 1 群は平均 1.2 $\mu\text{g/ml}$, 第 2 群は平均 0.9 $\mu\text{g/ml}$ に達し、尿中排泄量は血中濃度と密接な相関を示した。発疹、胃腸障害その他の副作用はみられなかった。8 症例で投与前の腫脹関節が計 60 関節であったが、12 週後は 17 関節に減少し、朝のこわばり、血沈も改善し、血清アルブミンの増加、 α_2 , γ グロブリンの減少がみられ、 γ グロブリンでは 1 gG が最も敏感に反応した。またリウマチ因子のタイターも低下した。これらの効果はとくに早期の患者に著明であった。増加したアルブミンレベルは投与中止後 3 カ月でも維持されていた。Auranofin が RA の

アルブミン低下を阻止するメカニズムは、著者らが経口投与金剤がアルブミンとつよい結合 (81.8%) を示すことを認めたこととともにさらに研究を要する。本剤投与中止後は 1 gG は投与前値にもどり、臨床症状も 1 gG の増加とともに再燃した。 α_2 グロブリン、1 gG に及ぼす影響から、RA の病因に関連した分子レベルでの本剤の作用メカニズムの研究が期待される。

(中伊豆温泉病院 間 得之)

成人失語症患者の聴理解に対する統語構造—発話速度及び句間休止の有無の影響について

Influence of linguistic complexity, rate of presentation, and interphrase time on auditory-verbal comprehension of adult aphasic patients/Lasky, E.Z., Weidner, W.E. and Johnson, J.P.: Brain and Language, **3**, 386—395, 1976.

【失語症, 言語理解, 統語構造, 言語刺激の聴覚処理時間】

失語症患者の聴理解に影響を及ぼすと思われる各種の要因のうち、統語構造の難易度と言語刺激の処理時間とを取り上げ、15 名の成人失語症患者を対象に実験を行った。刺激文は能動肯定、受動肯定、能動否定の 3 種の統語構造を持つものとし、発話速度 (普通, 遅い), 休止の有無 (句と句の間に 1 秒の休止を入れるか否か) により、4 つの異った条件の録音テープを作成した。患者には 3 枚の情景画の中から自分の聞いた文章に適合する絵を指さすことによって反応させた。その結果、普通よりも遅い速度に休止を加えて聴覚処理時間を増すと、文理解の成績も良くなることが認められた。また、統語構造の難易度は能動肯定、受動肯定、能動否定の順で難しくなることがわかった。統語構造の難易度と、処理時間との交互作用は今回は認められなかった。今後、最適速度を見出すための研究や統語構造がより複雑になった場合の聴理解に対する影響の研究などが更に必要となろう。

(都老人研 綿森 淑子)